

コロナワクチン関連サポートシンクチャーで血糖値改善ができたケース

荒木 愛（日本ホメオパシーセンター大阪茨木）

JPHMA 認定ホメオパス No.0971

ZEN メソッド修得認定 No.0381

JPHF 認定インナーチャイルドセラピスト No.0306

【要約】

コロナワクチンは打たない方がいいという私のすすめにも耳を貸さず、結局 5 回目まで摂取したわたしの実父。その後、胸の上部の痛みを訴え、それに合う砂糖玉レメディーを教えてほしいと言われたことをきっかけに、コロナワクチン関連のサポートシンクチャーをつぎつぎととらせたことにより、体調は改善、特に糖尿病の HbA1c が劇的に改善したことを目の当たりにし、本人はホメオパシーへの信頼を深め、現在も糖尿病の改善をホメオパシーも併用して行っている、というケース。

【主訴】

79 歳 男性

胸の上部の痛み

【具体的内容】

コロナワクチンを 5 回目まで摂取後、2022 年年末近くに胸の上部の痛みがあるとの連絡をうけ、急性症状に合う基本キット内のレメディーを伝えた（おそらく Acon.Arn.Carb-v.などを伝えたと思うが不確）。その際はすぐに胸部痛は改善。しかし、その胸部痛にコロナワクチンとの関連を疑い、年末にサポートシンクチャー数種を順にとるように伝える。年明けよりサポートシンクチャーを指示通りにとったところ、2 月の糖尿病の検査結果が劇的に改善したとの驚きの連絡がはいった。それ以降、糖尿病とそのほかの症状に対する改善を現代医学の薬と並行してホメオパシーでも継続中。

【選択したコロナワクチン関連のサポートシンクチャー】

2023 年 1 月 6 日～1 月 17 日	サポートコロナ-V-DNA
2023 年 1 月 19 日～2 月 2 日	サポート免疫グレート
2023 年 2 月 3 日～2 月 9 日	サポートポリープ
2023 年 2 月 10 日～2 月 28 日	サポート血栓
2023 年 3 月 1 日～3 月 13 日	サポート免疫グレート

【症状および検査結果、ワクチン接種ととったサポートシンクチャーのタイミング】

HbA1c：ヘモグロビン（過去1～2ヶ月前の血糖値を反映し、糖尿病の管理の指標として用いられる）

2022年2月3日	HbA1c 数値 6.9
2022年3月2日	HbA1c 数値 6.9
2022年4月13日	HbA1c 数値 7.2
2022年5月11日	HbA1c 数値 7.4
2022年6月8日	HbA1c 数値 7.0
2022年7月6日	HbA1c 数値 7.2
2022年8月3日	HbA1c 数値 7.3
2022年8月30日	コロナワクチン 4回目摂取
2022年9月13日	HbA1c 数値 7.3
2022年10月12日	HbA1c 数値 7.3
2022年11月8日	HbA1c 数値 7.5
2022年12月7日	HbA1c 数値 7.5
2022年12月	胸の上部の痛み
2022年12月22日	コロナワクチン 5回目摂取
2023年1月5日	HbA1c 数値 8.3
2023年1月6日～17日	サポートコロナ-V-DNA
2023年1月19日～2月2日	サポート免疫グレート
2023年2月3日～9日	サポートポリープ
2023年2月7日	HbA1c 数値 7.0
2023年2月10日～28日	サポート血栓
2023年3月1日	以前あった症状（鼠径ヘルニア）が2月末からまた出てきた
2023年3月1日～13日	サポート免疫グレート
2023年3月7日	HbA1c 数値 7.0
2023年3月14日	糖尿病等に対する3次元処方開始
2023年4月5日	HbA1c 数値 7.1
2023年5月9日	HbA1c 数値 7.3
2023年6月6日	HbA1c 数値 6.9
2023年7月4日	HbA1c 数値 7.0

【結果】

4 回目以前のワクチン接種の時期が不明ではあるが、2022 年の検査結果を見てもだんだんと HbA1c 数値があがっていることから、2022 年に数回ワクチンを接種していた可能性が高いのではないかと思われる。ワクチンを打たないよう、電話で再三話していたため、ワクチン接種したことをわたしに隠しており、細かい体調の不調についてや 2023 年 1 月に HbA1c 数値が 8.3 まで上がったことも、その時点では聞かされていなかった。結局ワクチン関連サポートシンクチャーをとり始めてから「身体が軽くなった」と本音を伝えてきた。高血糖も続いていたこともあり、相当辛かったのではないかと思われる。運動、食事、そのほかにも生活環境等変えていないにもかかわらず、HbA1c 数値が急降下したことにに関して、ワクチン関連サポートシンクチャーを取り始めたこと以外に数値が下がった要因が見当たらなかったため、本人の気づきに至り、わたしのもとへ連絡してきた。その後はホメオパシーを信頼し、以前とは 180 度変わって、積極的に取り入れるようになった。現在は肝臓や腸などのアプローチを行っている途中である。